

コメント提供者

プラスソーシャルインベストメント株式会社 代表取締役 野池雅人

コメント

当社は資金調達のスキームづくりや実際の資金調達に関わらせていただきました。SIBとして当時国内最大の事業規模、日本初の複数事業者による出資スキームの構築、複数年度の事業での成果目標の設定など前例のない取り組みでしたが、最終的に89名の個人・法人の方々から3000万円の出資という形で応援いただくことができました。また4年という期間をかけて最終的には市民の健康増進につながる社会的なインパクトを生み出したことや、出資者に託していただいた元本と分配金をお返しできたことも、大きな成果であると思っております。

全国的にもSIBの事例は多数ありますが、どちらかという資金提供者を限定しようという傾向にあります。SIBという形で多くの方から資金を調達することは、手間や時間はかかるわけですが、出資を通じて多くの地域住民や地元企業がまちづくりに参画する機会となります。単にお金を集めること以上に、地域総働のまちづくりという観点からも大変意味があるのではないかと考えております。そういった点においても、本コンセプトを大切にされたPS瀬戸内株式会社、岡山市の挑戦は他都市においても大変参考になるものと私たちは考えています。

本事業に係る報告等（別ウィンドウで開きます）

[岡山市SIB事業報告書 ～おかやまケンコー大作戦から知るヘルスケア領域の企業連携型SIBガイドブック～](#)